

横浜市感染症発生動向調査報告（令和7年6月）

《今月のトピックス》

- 百日咳の報告がさらに増加しており、2018年の全数調査開始以降、月間報告数で最多です。
- 麻しんの報告が続いており、国内感染例も増加しています。
- 腸管出血性大腸菌感染症の報告数が増加しています。
- 伝染性紅斑の報告数が高い値で推移しています。
- 梅毒は20歳代～50歳代を中心に幅広い年齢層で患者が多く発生しており、引き続き注意が必要です。

◇ 全数把握の対象 ＜2025年5月19日～6月22日に報告された全数把握疾患＞

腸管出血性大腸菌感染症	24件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	2件
E型肝炎	1件	侵襲性肺炎球菌感染症	8件
レジオネラ症	1件	梅毒	33件
アメーバ赤痢	1件	播種性クリプトコックス症	1件
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4件	百日咳	204件
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6件	麻しん	10件

- 腸管出血性大腸菌感染症**:10歳未満～60歳代で、O血清群は、O157が12件、O26が2件、O103が2件、O25が1件、O111が1件、O不明が6件です。経口感染と推定される報告が8件、接触感染と推定される報告が5件、その他とされる報告が1件、感染経路等不明が10件です。
- E型肝炎**:60歳代で、感染経路等は不明です。
- レジオネラ症**:60歳代で、肺炎型です。感染経路等は不明です。
- アメーバ赤痢**:40歳代で、感染経路等は不明です。
- カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症**:50歳代～80歳代で、医療器具関連感染と推定される報告が1件、手術部位感染と推定される報告が1件、以前からの保菌と推定される報告が2件です。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症**:30歳代～90歳代で、血清型はA群が4件、B群が2件です。創傷感染と推定される報告が2件、感染経路等不明の報告が4件です。
- 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)**:いずれも20歳代で、感染経路は性的接触(同性間)と推定されています。
- 侵襲性肺炎球菌感染症**:10歳未満～60歳代(ワクチン接種歴4回4件、無3件、不明1件)で、飛沫・飛沫核・接触感染と推定される報告が2件、その他とされる報告が1件、感染経路等不明の報告が5件です。
- 梅毒**:20歳代～70歳代で、早期顕症梅毒Ⅰ期9件、早期顕症梅毒Ⅱ期13件、晩期顕症梅毒1件、無症状病原体保有者10件です。性的接触による感染と推定される報告が28件(異性間22件、同性間1件、詳細不明5件)、感染経路等不明が5件です。
- 播種性クリプトコックス症**:60歳代で、免疫不全による感染と推定されています。
- 百日咳**:10歳未満～80歳代(ワクチン接種歴5回3件、4回94件、3回4件、2回2件、1回1件、無10件、不明90件)で、家庭内感染及び周囲の流行が推定される報告が5件、家族内感染と推定される報告が40件、周囲の流行と推定される報告が30件、感染経路等不明の報告が129件です。
- 麻しん**:10歳未満～40歳代(ワクチン接種歴2回3件、無3件、不明4件)で、飛沫・飛沫核感染と推定される報告が3件、感染経路等不明が7件です。推定感染地域は、海外が2件、国内が7件、不明が1件です。

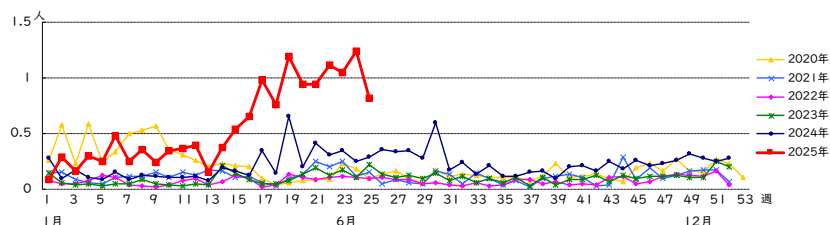
◇ 定点把握の対象

※ 2025 年第 14 週(3 月 31 日～4 月 6 日)以降、小児科定点は 94→51、内科定点は 59→39 医療機関に変更されました。

報告週対応表	
2025 年 第21週	5月19日～5月25日
第22週	5月26日～6月 1日
第23週	6月 2日～6月 8日
第24週	6月 9日～6月15日
第25週	6月16日～6月22日

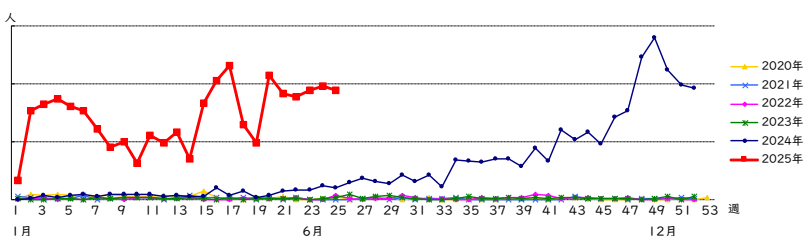
1 水痘

2025 年第 14 週(3 月 31 日～4 月 6 日)以降急増し、例年の同時期よりも高い値で推移しています。第 25 週は 0.81 です。



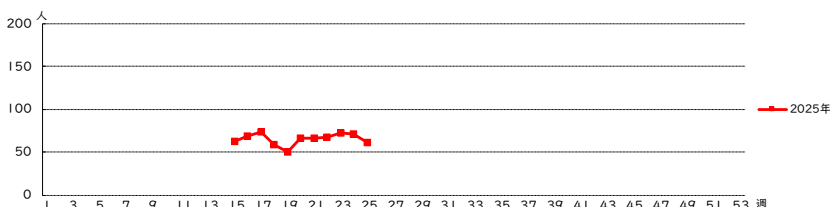
2 伝染性紅斑

2024 年第 49 週(12 月 2 日～12 月 8 日)にピークを迎えましたが、2025 年第 2 週以降も依然として高い値で推移しています。第 25 週は 1.88 です。



3 急性呼吸器感染症 (ARI)

2025 年第 15 週(4 月 7 日～4 月 13 日)から新たに調査を開始しました。概ね横ばいで推移しています。第 25 週は 61.47 です。



4 性感染症 (2025 年 5 月)

性器クラミジア感染症	男性:47件	女性:21件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:20件	女性: 6件
尖圭コンジローマ	男性:28件	女性: 4件	淋菌感染症	男性:16件	女性: 6件

5 基幹定点週報

	第21週	第22週	第23週	第24週	第25週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.33	0.25	1.00	1.75	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00

6 基幹定点月報(2025年5月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	11件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科・ARI(急性呼吸器感染症)定点:5か所、ARI定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計14か所を設定しています。

検体採取は、小児科・ARI定点とARI定点で毎週実施しています。
眼科と基幹(病院)定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

2025 年第 21 週～第 25 週に病原体定点から搬入された検体は、ARI(急性呼吸器感染症)定点 167 件、小児科定点 4 件、基幹定点 2 件、定点医療機関外 1 件でした。

7 月 6 日現在、表に示した各種ウイルスの分離 6 株と遺伝子 116 件が同定されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(2025 年第 21 週～第 25 週)

主な臨床症状等 分離・検出ウイルス	インフル エンザ	新型 コロナ ウイル ス	上気 道炎	下気 道炎	感染性 胃腸 炎	発 疹
インフルエンザウイルス A型	- 2					
インフルエンザウイルス AH1pdm09	1 -					
アデノウイルス			- 2			
アデノウイルス 1型				1 -		
アデノウイルス 2型			1 2			
アデノウイルス 41型					- 1	
新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)		- 11				
RS ウイルス			- 2			
ヒトメタニューモウイルス			- 1	- 2		
パラインフルエンザウイルス 2型			2 2	- 1		
パラインフルエンザウイルス 3型			- 24	- 16		
パラインフルエンザウイルス 4型			- 6	- 3		
ライノウイルス			- 30	- 9		
ヒトパルボウイルス B19						- 1
コクサッキー A 6型			- 1			
単純ヘルペスウイルス 1型			1 -			
合 計	1 2	- 11	4 70	1 31	- 1	- 1

上段:ウイルス分離数 下段:遺伝子検出数

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

〈細菌検査〉

6 月期(2025 年第 21 週～第 25 週)の「菌株同定」について保健所からの検査依頼は、腸管出血性大腸菌感染症 14 件、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 6 件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 6 件、侵襲性肺炎球菌感染症 4 件、薬剤耐性緑膿菌感染症 1 件、菌血症(サルモネラ)2 件でした。

「分離同定」の検査依頼は保健所からレジオネラ症 1 件、百日咳 1 件、百日咳様疾患疑い 1 件、細菌の 16SrRNA 遺伝子検索(脳膿瘍、術部感染)3 件でした。

病原体定点医療機関からの検査依頼は「小児科定点」から溶血性レンサ球菌咽頭炎 12 件でした。

4 月 7 日から開始された急性呼吸器感染症サーベイランスを実施する「ARI 定点」からの検査依頼は 74 件でした。

表 感染症発生動向調査における病原体調査(2025 年第 21 週～第 25 週)

菌株同定		項目	検体数	血清型等	
保健所	腸管出血性大腸菌感染症	14		O157 : H7 VT1 VT2	(4)
				O157 : H7 VT2	(2)
				O26 : H11 VT1	(2)
				O26 : H- VT1	(1)
				O25 : H+ VT2	(1)
				O103:H+ VT1	(1)
				Og5 : Hg9 VT1	(1)
				Og108 : Hg25 VT1	(1)
				Og123/186:Hg2 VT1 VT2	(1)
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	6		<i>Enterobacter colacae</i> complex	(3)
				<i>Klebsiella aerogenes</i>	(2)
				<i>Escherichia coli</i>	(1)
保健所	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6		A群溶血性レンサ球菌 T1型	(1)
				A群溶血性レンサ球菌 T4型	(1)
				A群溶血性レンサ球菌 TB3264型	(1)
				A群溶血性レンサ球菌 T型別不能	(1)
				B群溶血性レンサ球菌 I a型	(1)
				B群溶血性レンサ球菌 V型	(1)
	侵襲性肺炎球菌感染症	4		<i>Streptococcus pneumoniae</i> 3型	(1)
				<i>Streptococcus pneumoniae</i> 22F型	(1)
				<i>Streptococcus pneumoniae</i> 24F型	(1)
				<i>Streptococcus pneumoniae</i> 38型	(1)
	薬剤耐性緑膿菌感染症	1		<i>Pseudomonas aeruginosa</i> blaNDM-1	(1)
	サルモネラ症	2		<i>Salmonella enterica</i> subsp. <i>enterica</i> O13群	(2)
分離同定		項目	検体数	材料	同定、血清型
保健所		脳膿瘍	1	髄液	16SrRNA遺伝子 陰性 (1)
		低月例発熱	1	鼻咽頭ぬぐい液	百日咳菌、バラ百日咳菌、 <i>Bordetella holmessii</i> 、肺炎マイコプラズマ各遺伝子 陰性 (1)
		レジオネラ症	1	喀痰	<i>Legionella pneumophila</i> SG1 (1)
		人工膝関節形成後術部感染	2	関節液、骨部	16SrRNA遺伝子 陰性 (2)
		百日咳	1	鼻腔ぬぐい液	<i>Bordetella pertussis</i> (1) (マクロライド耐性遺伝子変異無し)
小児科サーベイランス	材料	診断名	検体数	同定、血清型等	
小児科定点	咽頭ぬぐい液	溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	A群溶血性レンサ球菌 T4 (9) A群溶血性レンサ球菌 T28 (2) 培養 陰性 (1)	
ARIサーベイランス	材料	診断名	検体数	同定、血清型等	
ARI定点	鼻咽頭ぬぐい液 鼻汁 等	ARI	74	百日咳菌遺伝子 陽性 (0) 肺炎マイコプラズマ遺伝子 陽性 (2)	

【 微生物検査研究課 細菌担当 】